

青い鳥

モーリス・メーテルリング

まぶしい“光の精”^{せい}は言いました。

「わたしたちも、あなたがたといっしょに行きましょう。」

青い鳥をさがす旅にね。」

こうして、チルチルとミチルは、旅に出ました。

長い旅でした。みんなつかれきったころ、道は、すっぽりと、

白いきりに包^{つつ}まれました。

「やあ、ここから先は、思い出の国。チルチルとミチルだけで、行かなければなりません。」

光の精^{せい}が言いました。二人が、おそろおそろ進んでいくと、

小さな家がありました。

そして、家の前には、ずっと前になくなったはずの、

なつかしいおじいさんとおばあさんが、立っているではありませんか。

「まあ、おまえたち、大きくなって……。」

おじいさんとおばあさんは、しっかりと二人をだきしめました。

(小学3、4年生課題)